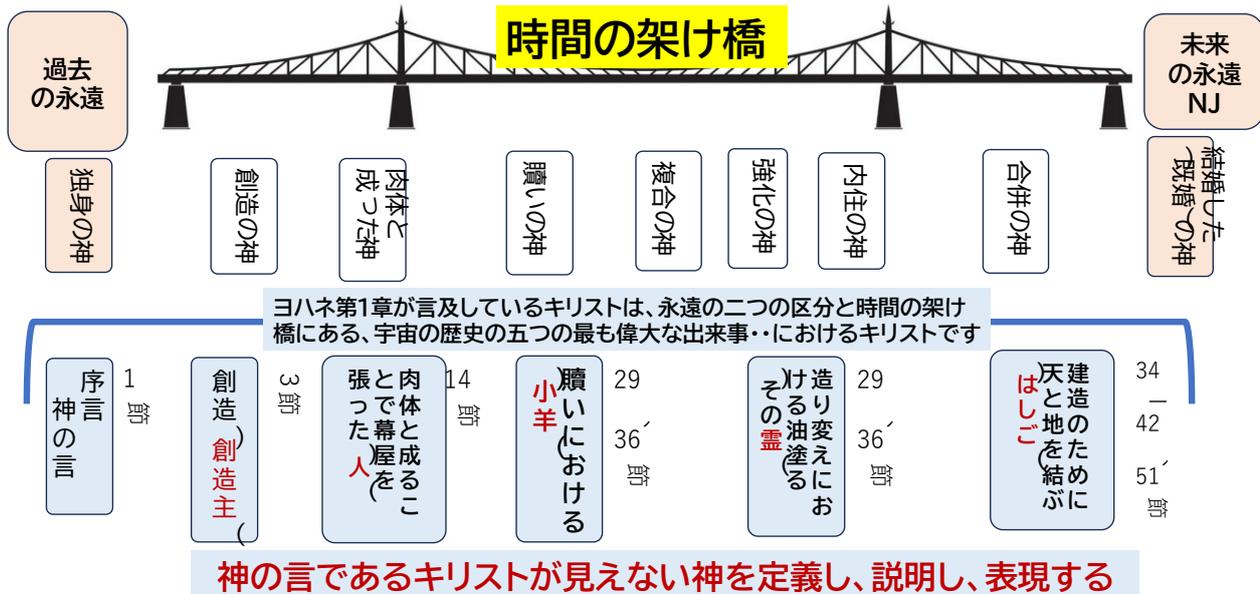


聖書とは、神の言としての“journeying” Triune God
「行程を行く三一の神」の自叙伝であり歴史です



神の言であるキリストが見えない神を定義し、説明し、表現する

主要な御言葉

神の言	ヨハネ 1:01 初めに言があった . 言は神と共にあった. 言は神であった。
創造	ヨハネ 1:03 すべてのものは、彼を通して成った . 成ったもので、彼なしに成ったものはなかった。
肉体と成る	ヨハネ 1:14 そして言は肉体と成って 、わたしたちの間に幕屋を張られた. それは恵みと実際に満ちていた. わたしたちは彼の栄光を見た. それは、父からのひとり子としての栄光であった。
小羊と成る	ヨハネ 1:29 その翌日、ヨハネはイエスが自分の所に来られるのを見て言った、「見よ、世の人の罪を取り除く 神の小羊 ！
その霊と成る	ヨハネ 1:32 またヨハネは証しをして言った、「わたしは その霊 がはどのように天から下って、彼の上にとどまるのを見た。
はしごと成る	ヨハネ 1:51 そして彼は言われた 、「まことに、まことに、わたしはあなたがたに言う。天が開け、 神の御使いたちが人の子の上を上り下りする のを、あなたがたは見るであろう」。

神の言としてのキリスト

神の言	I	キリストは神の言	A	神の言としてのキリストは、大いなる「わたしはある」
			B-C	キリストは歴史の五つの偉大な出来事を通して語ります
五つの件を通して語る	II	キリストは創造を通して神のために語る	A-B	天と地と万物は神の存在を証明します
			C	神が創造した人が神を尋ね求める
	III	キリストは肉体と成ることを通して語る	A-C	神の幕屋となる
			D	神を人に明らかに示す
	IV	キリストは小羊と成ることを通して語る	A	贖いを法理的に完成した
			B	旧約のすべてのささげ物の成就として
V	キリストはその霊と成ることを通して語る	A-B	油塗る霊は命を与え人を造り変えます	
		C-D	神の建造のための石を生み出す	
VI	キリストは天のはしごと成ることを通して語る	A-B	神の家(ベテル)を建造する	
		C	ヤコブの夢の究極的な実現、新エルサレム	

メッセージ 6 神の言としてのキリスト

聖書：ヨハネ 1:1, 3-5, 14, 16-18, 29, 32, 42, 51

キリストは神の言です

I. ヨハネ第1章は、ヨハネによる福音書全体の序言であり、この序言の主要な強調は、キリストが神の言であるということです。彼は奥義的な見えない神の定義、説明、表現です——ヨハネ 1:1:

***神の言としてのキリストは、大いなる「わたしはある」です**

A. 神の言としてのキリストは、大いなる「わたしはある」であり、自ら存在し、永遠に存在します。彼は永遠である方、始まりも終わりもない方です——出 3:14-15. ヨハネ 8:24, 28, 58. ヘブル 7:3。

***B-C、キリストは歴史の五つの偉大な出来事を通して語ります**

B. ヨハネ第1章が言及しているキリストは、永遠の二つの区分と時間の架け橋にある、宇宙の歴史の五つの最も偉大な出来事、すなわち創造、肉体と成ること、贖い、油塗り、建造におけるキリストです——参照、詩 90:1-2. ミカ 5:2:

1. ヨハネ第1章は、ヨハネによる福音書全体への序章として、「行程を行く」三一の神の歴史の要約であり、彼は過去の永遠において言でしたが、未来の永遠において究極的に新エルサレムとなります——ヨハネ 1:1, 4-5, 51。
2. ヨハネ第1章が結晶化の方法でわたしたちに見せているのは、永遠の言が、彼の創造する働きにおいて、また時間の架け橋を越える彼の行程において、肉体と成って彼の法理的な贖いを完成し、油塗る、命を与える、造り変える霊と成って、彼の有機的な救いを遂行し、そして究極的に彼の再生され、造り変えられ、栄光化された花嫁と完全に結合され、ミングリングされ、合併されて新エルサレム、究極のベテル、神と人の相互の住まいになるということです。

C. これら 五つの宇宙的で歴史的な出来事において、神の言であるキリストは、

- (1) 創造における創造主、
- (2) 肉体と成ることによってわたしたちの間に幕屋を張った人、
- (3) 贖いにおける小羊、
- (4) 造り変えにおける油塗る霊、
- (5) 神の建造のために地を天に結び付けることでのはしごととして、
見えない神を定義し、説明し、表現します
——参照、ヨハネ 1:1, 10:35. エペソ 6:17. ヨハネ 6:63。

キリストは創造を通して神のために語ります

II. 神の言としてのキリストは、神の創造を通して神のために語ります——ヨハネ 1:3:

***A-B、天と地と万物は神の存在を証明します**

A. 「天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。昼は昼に言葉を出し、夜は夜に知識を告げる。話もなく、言葉もなく、その声も聞かれない」——詩 19:1-3。

B. 「神の見えない永遠の力と神性の特徴は、世界が創造されて以来、明らかに見られており、造られた物によって認められているので、彼らには弁解の余地がありません」——ローマ 1:20。

***神が創造した人が神を尋ね求める**

C. 使徒第14章15節から17節と第17章24節から29節で言及されていることは、神のために語るキリストの創造を啓示するという同じ目的を果たします——参照、ヘブル 11:3, 1:2. コロサイ 1:15-17. ハガイ 2:7。

キリストは肉体と成ることを通して神のために語る

III. 神の言としてのキリストは、肉体と成って神の幕屋となることを通して、神のために語ります——ヨハネ 1:14:

***A-C、神への幕屋となる**

A. 言は、肉体と成ることによって、神を人性の中へともたらしただけでなく、人々の間での地上の神の住まいとして神への幕屋ともなり、恵みと実際に満ちていました:

1. 律法は、神が何であるかにしたがって人に要求します。恵みは、神が何であるかを人に供給して、神が要求するものに応じます——17節。
2. 「わたしたちはみな、彼の豊満から、恵みの上にさらに恵みを受けた」——16節。

- B. 彼は肉体と成ることにおいて、三一の神の具体化となり、神を人にもたらし、神を接触することができ、触れることができ、受け入れることができ、経験することができ、入ることができ、享受することができるようにしました。
- C. 彼は神・人と成り、神性を人性の中へともたらし、神性を人性とミングリングしました。

*神を人に明らかに示す

- D. 神のひとり子が肉体と成ることはまた、御言、命、光、恵み、実際の中で神を人に明らかに示す(説明する)ことでもあります——18節：
1. 言は、表現され、説明され、定義された神であり、それは人が神を理解するためです。
 2. 命は分け与えられた神であり、それは人が神を受け入れるためです。
 3. 光は輝く神であり、それは人が照らされて、神にあずかるためです。
 4. 恵みは人によって享受される神であり、それは人が神の豊富にあずかるためです。
 5. 実際は人によって実際化された神であり、人が神を会得し、知るためです。

キリストは、小羊となることを通して、神のために語ります

IV. 神の言としてのキリストは、贖いのための神の小羊となることを通して、神のために語ります——ヨハネ 1:29, 36：

*贖いを法理的に完成した

A. キリストは、失われた世の人の贖いのために小羊となることにおいて、どのようにして神が、神の義にしたがった手続きとしてのキリストの死を通して、キリストの贖いを法理的に完成したかについて、わたしたちに語ります。

*旧約のすべてのささげ物の成就として

- B. 神の小羊は、旧約のすべてのささげ物の成就としての肉体における言を表徴し、神の全き贖いを完成します——ヘブル 10:5-10：
1. キリストは、罪のためのささげ物、違反のためのささげ物、全焼のささげ物、穀物のささげ物、平安のささげ物、揺り動かすささげ物、挙げるささげ物、注ぎのささげ物の実際です。
 2. すべてのささげ物としてのキリストと共に、わたしたちは神の全き贖いを持っており、この贖いを経験し享受することができます。

*キリストはその霊と成ることを通して神のために語る

V. 神の言としてのキリストは、油塗る霊と成って、新約のために有機的に、神の贖われた人を造り変えて石とし(ヨハネ 1:32-42)、神の家を建造することを通して(ベテル——51節)、神のために語ります：

A-B、油塗る霊は命を与え人を造り変えます

- A. キリストは、油塗る、命を与える、造り変える霊と成ることにおいて(Iコリント 15:45)、どのようにして神が彼の心の願いにしたがって、彼の神聖な定められた御旨のために、彼の神聖な命によって、彼のエコノミーを有機的に完成するかを、さらにわたしたちに語ります。
- B. わたしたちは目を覚まして、日常生活におけるいかなる事も、わたしたちの霊の中の油塗る霊としてのキリストと置き換わらないようにする必要があります——Iヨハネ 2:20, 27：
1. キリストは油塗られた方であり、油塗る方、また油塗りとなります。反キリストの原則の中で生きることは、反油塗りとなることです(「反」は、「敵対する」、「の代わりに」、「に代わって」を意味します)——18, 22節. 4:3. IIヨハネ 7節。
 2. 反キリストになるとは、キリストに敵対し、他のものでキリストを置き換えることです。
 3. もしわたしたちが自分自身の振る舞いや性格でキリストを置き換えるなら、ある事柄がキリストご自身と置き換わることを許すという意味において、反キリストの原則を実行しています——参照、ピリピ 1:21. 4:4-9。
 4. わたしたちが悔い改める必要があるのは、反キリストの原則の中で日常生活をして、文化、宗教、倫理、天然の観念が内なる油塗りとしてのキリストと置き換わることを許しているからです。この事は油塗りに反すること、わたしたちの内側の三一の神の動き、働き、浸透に反対することです。
 5. わたしたちは次のように祈るべきです、「主よ、わたしたちは油塗り(三一の神がわたしたちの内側で動き、働き、浸透すること)の中で、油塗りと共に、油塗りを通して、油塗りによって生き、歩きたいのです」。

*神の建造のために石を生み出す

- C. はとは、油塗る霊であり、創造された人を再生し、天然の人を油塗り、造り変えて生ける石とし、造り変えられた人を結合させます。
- D. ペテロが回心した時、主は彼にペテロ、すなわち石という新しい名を与えました（ヨハネ 1:42）。またペテロがキリストに関する啓示を受けた時、主はさらにご自身が岩、すなわち石であることを啓示しました（マタイ 16:16-18）。これら二つの出来事によってペテロは、キリストと彼の信者たちの両方が神の建造のための石であるという印象を受けました（I ペテロ 2:4-8）。

キリストは天のはしごと成ることを通して語る

- VI. 神の言としてのキリストは、神の建造のためにはしごとになって、天（神）を地（人）にもたらし、地（人）を天（神）に結び付けて一とならせることを通して、神のために語ります——ヨハネ 1:51. 創 28:11-22 :

神の家(ベテル)を建造する

- A. キリストはまた、ベテルにおける天のはしごとであることにおいて、神がどれほど地上でご自身の贖われ造り変えられた選びの民で構成された家を持ち、それによって天を地にもたらし、地を天に結び付け、両者を一にして永遠に至ることを願っているかをわたしたちに語ります。
- B. ヤコブの夢はキリストの啓示です。なぜならキリストは、ヤコブがベテル、すなわち神の家で見たはしごの実際であるからです——創 28:12. ヨハネ 1:51 :
1. わたしたちの再生された霊は、今日の神の住まいであり（エペソ 2:22）、キリストが天のはしごととして立てられている地上の基礎です（II テモテ 4:22）。
 2. 天の門であるベテル（神の家、神の住まい）において、キリストははしごとであって、地を天に結び付け、天を地にもたらしめます。ですから、わたしたちが霊に戻るときはいつでも、神をわたしたちに、わたしたちを神にもたらしはしごととしてのキリストを経験します。
 3. 天のはしごととしてのキリストの結果は、神の建造、すなわちベテル、召会、キリストのからだであり、このはしごの究極的完成は新エルサレムです。
- C. 「主の再来は、彼を追い求める者たちの堅固な建造を必要とします。この建造は、彼が地を占有するための踏み石、足掛かりとなり、神と人の両方の相互の住まいとなります。それは永遠に神性と人性との、また人性と神性とのミングリングとなります。……この建造は、ヤコブの夢の究極的な実現となるだけでなく、神の永遠のご計画の究極的な完成ともなります。それは時間の架け橋を終わらせ、未来の祝福された永遠を導入します。わたしたちはその建造のためでなければならず、その建造でなければなりません！」（ヨハネによる福音書ライフスタディ（1）、第5編）。